

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●五十嵐雄祐騎手が史上7位となるJRA障害通算160勝を達成

8月19日(土)の3回新潟3日・第1レースではヴィアメントが1着となり、同馬に騎乗した五十嵐雄祐騎手(美浦・田村康仁厩舎)はJRA障害通算160勝を達成しました。これは北沢伸也騎手の159勝を抜いて、JRA史上単独7位の記録となります。

### ●川田将雅騎手がJRA年間100勝を達成

8月20日(日)の2回札幌4日・第5レースではウールデュボールが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、自身5年連続9回目、今年1人目となるJRA年間100勝を達成しました。

### ●馬連・馬単・3連単で札幌競馬史上最高払戻金が飛び出す

8月20日(日)の2回札幌4日・第7レースでは、単勝14番人気のワレハウミノコが1着、16番人気のシャドウエリスが2着、9番人気のポーレットが3着に入り、馬連10-14の払戻金は28万6010円(120通り中116番人気/的中169票)、馬単10-14の払戻金は60万3270円(240通り中233番人気/的中31票)、3連単10-14-12の払戻金は1773万円(3360通り中3282番人気/的中4票)となり、いずれも式別ごとの札幌競馬史上最高払戻金記録を更新しました。なお3連単の払戻金1773万円は、JRA史上第10位の記録となります。

### ●ヴェルテックス、ラーゴムの競走馬登録抹消

2021年名古屋グランプリ(名古屋・JpnⅡ)の勝ち馬ヴェルテックス(牡6歳/栗東・吉岡辰弥厩舎/JRA通算23戦3勝・地方4戦1勝)、2021年きさらぎ賞(GⅢ)の勝ち馬ラーゴム(牡5歳/栗東・斉藤崇史厩舎/JRA通算16戦4勝・地方3戦0勝)は、7月2日(日)までに競走馬登録を抹消されました。ヴェルテックスは地方・大井競馬に移籍。ラーゴムは乗馬となる予定ですが、繋養先は未定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●北海道のカイコウがクローバー賞(札幌)2着で札幌2歳Sへ

クローバー賞(2歳オープン、8月20日、札幌)に出走した7番人気の北海道所属馬カイコウ(騾、父スクリーンヒーロー)は、3番手追走から2着に入り、札幌2歳S(GⅢ、9月2日)の出走資格を獲得しました。

### ●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド金沢の結果

2023ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド金沢は8月22日に実施され、第1戦を大畑慧悟騎手(愛知)、第2戦を濱尚美騎手(高知)が制しています。

### ●BGジュニアCはブラックバトラー【各地の主要2歳重賞】

ブリーダーズゴールドジュニアC(8月10日、門別、1700<sup>円</sup>)は、中団から追い上げた5番人気のブラックバトラー(牡、父ニシスター)が直線半ばで差し切り、新馬戦から連勝。新設重賞の兵庫ジュベナイルC(8月10日、園田、1400<sup>円</sup>)は、4番手を進んだ4番人気のマミエミモモタロー(牡、父ニシケンモノノフ)が直線に入って間もなく内から抜け出し、無傷の2連勝を達成しました。

### ●ロータスクラウン賞はブレイブアモーレ【各地の主要3歳重賞】

ロータスクラウン賞(8月13日、佐賀、2000<sup>円</sup>)は、3番人気のブレイブアモーレ(牡、父バンブーエール)が6番手から2周目4コーナーで内を突いて先頭に立ち、2度目の重賞勝ちを果たしています。

### ●レディバグラが参戦、8月31日のサマーチャンピオン(佐賀)

サマーチャンピオン(JpnⅢ、8月31日、佐賀、1400<sup>円</sup>)は、牝馬のレディバグラが中心、以下ヘリオス、デンコウリジエール、オマツリオトコ、サンライズホークの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1ウィンクスS~ウォーラー調教師がG1・150勝

現地8月19日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われたG1ウィンクスS(3歳上、芝1400<sup>m</sup>)は、J.マクドナルド騎手を背にしたファンガール(牝5歳、父シープリング)が後方から差し切り勝ち。管理するC.ウォーラー調教師はG1・150勝目を自身が手がけたG1・25勝の名牝ウィンクスの名を冠したレースで飾りました。勝ったファンガールは昨年3月のヴァイナリースタッドS(芝1850<sup>m</sup>)以来となるG1・2勝目です。

### ●G1アラバマス~ランダマイズドがG1初制覇

8月19日にアメリカ・ニューヨーク州のサトガ競馬場で行われたG1アラバマス(3歳牝、ダート2000<sup>m</sup>)は、J.ロザリオ騎手が手綱を取ったランダマイズド(牝3歳、父ナイキスト、C.ブラウン厩舎)が4馬身差の逃げ切り勝ちを収めました。2着にG1CCAオークスを勝って臨んだウエットペイント。ノーザンファーム代表の吉田勝巳氏が所有するG1アシュランドSの勝ち馬ディファイニングパーパスは3着でした。勝ったランダマイズドはデビュー3戦目で迎えた今年6月のG1エイコーンSは控える競馬で6着でしたが、続く前走7月のウィルトンS(ダート1600<sup>m</sup>)を逃げ切ってここに臨んでいました。